

植物をみつけよう・遊びを通して植物を学ぶ

みつけられるかな？

対象：年長～小学生低学年（1・2・3年）



■遊びを通じて植物を学ぶ

身の周りはたくさんの植物が見られます。校庭、公園、家の庭、道端ではタンポポ、サクラ、ヒマワリなどなじみ深い植物が、園芸店では、色々な美しく、かわいい草花が、スーパーではおいそうな世界の果物、野菜が並んでいます。この地球上には数えきれない植物が生き、まだ知られていない植物もたくさんあります。

「植物をみつけよう」では花・葉・幹などの特徴から植物種の特徴を学ぶことを目的としたゲームです。さらに広い植物園で園内地図をたよりに問題ポイントを見つけ出す「宝探し」的なワクワク感と冒険心を満足させることができます。方向を感知する能力と体力、的確な行動力、観察力がためされ、遊びを通じて植物の特徴を学ぶしくみとなっています。



■ゲームの進め方



図2. ヒントボール



図3. シールが入ったビン

みつけた植物には○に（●）シールをはろう！

植物をみつけよう

○に文字を入れて、植物の名前を完成させよう！

②



コウヤ○ツレ

①



○ノキ



④



チヨウ○レン

③



○○ウショウ

図1. 解答シート

1. 植物の特徴（花、実、樹皮、葉など）が写真が印刷された解答シート（図1）を参加者に配布します。その解答シートの地図をたよりに、写真と一致する植物を見つけます。
*問題数は20問まで準備できます（季節により15問程度になる場合もあります）
2. 園内は広く、写真に掲載された植物を見つけることは困難です。そこで！対象となる植物の近く（3m以内）にはヒントボール（図2）が立ててあり、それを目印として写真の特徴と一致する植物をみつけます。ヒントボールの番号は解答シート地図上の番号と写真左上の番号と一致します。
3. 対象植物がみつかったら、その植物の株下に隠された赤丸シールの入ったビン（図3）を見つけ出し、シールを対象植物写真の右上に設けられた白丸に貼りつけます。
4. 次の植物を地図を頼りに探します。

★オプション1

1. 植物園滞在時間に合わせ、30～60分コース、60～90分コース、90～120分コースが選べます。
2. ゴールまで掛る時間設定し（ゲーム最後に発表）、各人その時間的差より減点を行う、ウォークラリー形式も可能です。

★オプション2

1. 植物名の一部を空欄にし、ラベルより名前を探り出し、正式な植物名を完成させる解答シートを選択することもできます。
2. ビンの中に、ある文字を書いたカードを入れて、それをキーワードにし「ある言葉」を組み立てることもできます。
3. ビンの中に簡単な「なぞなぞ」を書いたカードを入れて、終わりに「なぞなぞ」の答え合わせして得点により順位をつけることもできます。

